

下水道管路施設清掃業務作業日報

課長	課長補佐	係長	担当

受注業者名

印

業務番号	業委託第 号	業務の名称	公共下水道施設(新南陽地域)清掃点検業務委託				
日時	令和 年 月 日 曜日		天候		責任技術者	印	
	時 分 ~ 時 分						
作 業 内 容							
一般管渠・伏起し	種 別	場 所 又 は 路 線 名	管径及び管延長	汚 泥 深 (%)			汚泥量 (m ³)
				上流深	下流深	平均深	
マンホールポンプ 空気弁	種 別	場 所 又 は 路 線 名	箇 所 数	汚 泥 深 (%)			汚泥量 (m ³)
従事人員	清掃作業員	名	使用機材	高圧洗浄車 t車 × 台			
	運 転 員	名		揚 泥 車 t車 × 台			
	交通整理員	名		給 水 車 t車 × 台			
報 告 ・ 協 議 事 項					作業予定 (/)		
					種別	場 所 又 は 路 線 名	
					指 示 ・ 事 項		

酸素及び硫化水素濃度測定表

測定実施日	年 月 日 () 天候:		外気流の影響	有 ・ 無		
測定者			修了書No.	年 月 日取得		
測定者			修了書No.	年 月 日取得		
監視人	氏名:		氏名:			
測定場所						
測定箇所		測定結果		測定条件等		
測定点	測定時刻	酸素 (%)	硫化水素 (ppm)	換気の有無	使用保護具	備考
①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
使用測定機器						
更生年月日						
測定箇所						
措置						
注意事項	<p>次の場所を測定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 作業場所に酸素欠乏の空気が発生し、進入し、または停滞のおそれがある場所のある時は当該場所 作業場所については、垂直方向および水平方向を次によって、それぞれ3箇所以上 作業に伴って作業者が立ち入る場所 					

酸素及び硫化水素濃度測定表

記入例

測定実施日	年 月 日() 天候:		外気流の影響	有 ・ 無		
測定者			修了書No.	年 月 日取得		
測定者			修了書No.	年 月 日取得		
監視人	氏名:		氏名:			
測定場所	周南市大字〇〇字△△地内 汚水浄化槽					
測定箇所		測定結果		測定条件等		
測定点	測定時刻	酸素(%)	硫化水素(ppm)	換気の有無	使用保護具	備考
①	8:30	20	0	なし	なし(マンホール外より測定)	マンホール開放時に硫化水素臭あり
②	8:31	20	0			
③	8:32	20	1			
④	8:33	20	1			
⑤	8:34	19	2			
⑥	8:35	20	2			
⑦	8:36	20	2			
⑧	8:37	20	8			
⑨	8:38	16→20	12→5			
使用測定機器	〇〇計器社(株)製 △△-〇型					
更生年月日	平成〇年△月□日 校正 〇〇社(株)					
測定箇所	<p>The diagram shows a 3D perspective of a rectangular measurement area. The top horizontal edge is labeled 20m, the left vertical edge is 8m, and the depth edge is 6m. On the top surface, there are three circles representing manholes. The bottom surface is divided into a 3x3 grid of numbered points (1-9). Points 1, 2, and 3 are in the front row; 4, 5, and 6 are in the middle row; 7, 8, and 9 are in the back row.</p>					
措置	ポータブルファンを使用して30分間換気を行い再度測定したが、第3槽内でなお硫化水素濃度が5ppm検出されたため、警報器を携帯して作業を開始した。					
注意事項	<p>次の場所を測定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 作業場所に酸素欠乏の空気が発生し、進入し、または停滞のおそれがある場所のある時は当該場所 作業場所については、垂直方向および水平方向を次によって、それぞれ3箇所以上 作業に伴って作業者が立ち入る場所 					